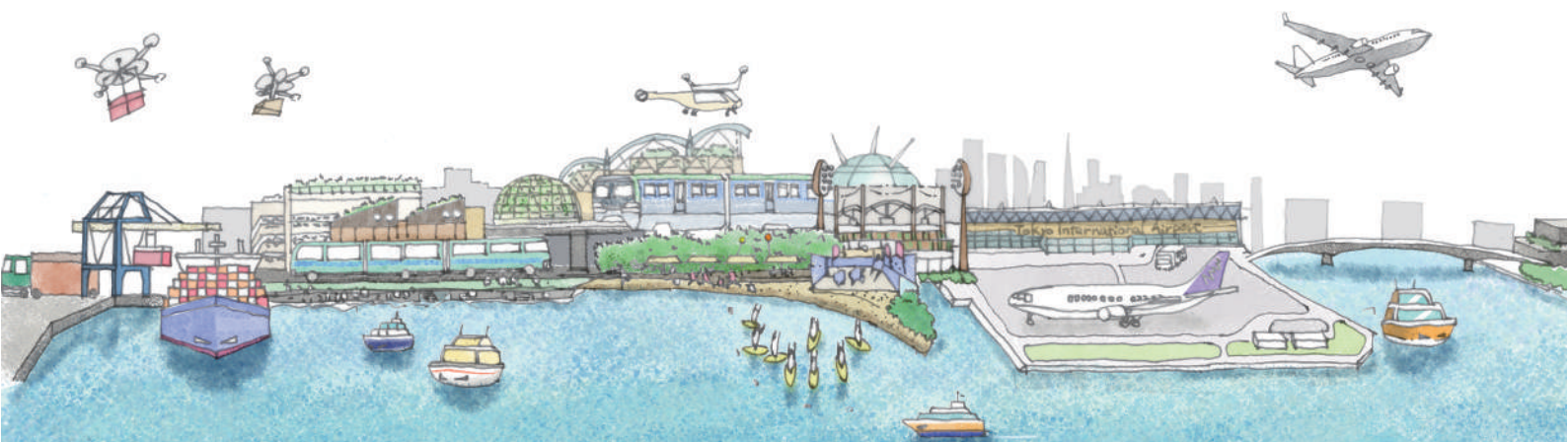


空港臨海部グランドビジョン

2040

A I R P O R T W A T E R F R O N T G R A N D V I S I O N



大田区

2040年の将来像と都市構造

多様な人々が交流・挑戦する“未来型創造都市” ～世界へはばたく空港臨海部～

高度な産業

技術者が交流・挑戦し、高い付加価値を生み出す場となっている

自然・環境

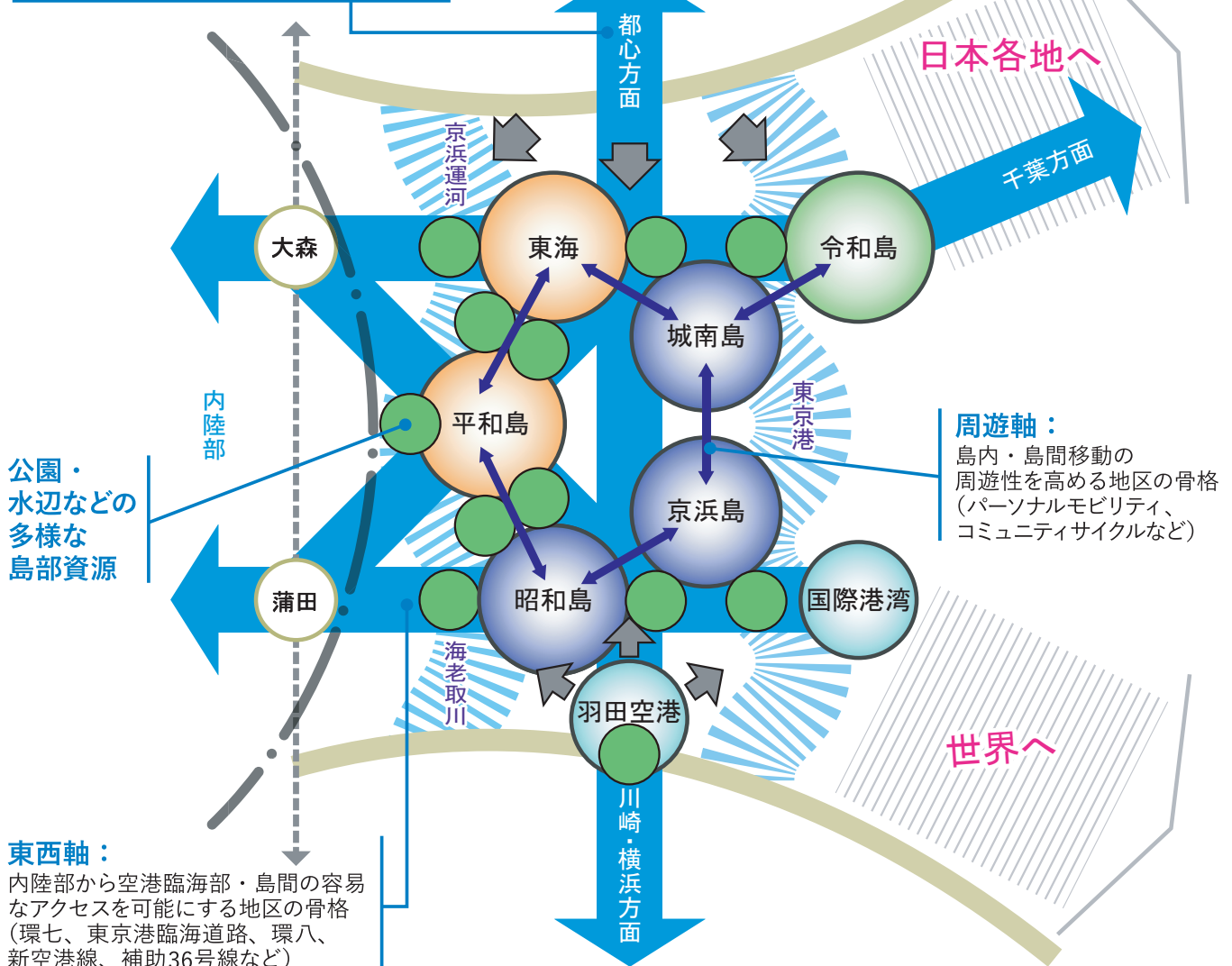
自然・スポーツ・アートの拠点として、誰にでも親しまれる場となっている

次世代のインフラ

公共交通や物流の快適な交通網が整備されている

南北軸：

南北の物流・商業・人流を支える地区の骨格
(東京湾岸道路、東京モノレールなど)



周遊軸：

島内・島間移動の周遊性を高める地区の骨格
(パーソナルモビリティ、コミュニティサイクルなど)

東西軸：

内陸部から空港臨海部・島間の容易なアクセスを可能にする地区の骨格
(環七、東京港臨海道路、環八、新空港線、補助36号線など)

空港臨海部の2040年みらいスケッチ

10代 留学生

パラスポーツの聖地



- 私は海外出身で、2年前にパラアスリートの留学生としてやってきました。今では、空港臨海部で多様なスポーツ・アクティビティを体験することができます。
- 空港臨海部へのアクセスはバリアフリー化されているので、車いすでも安心して快適に移動することができます。

20代 学生

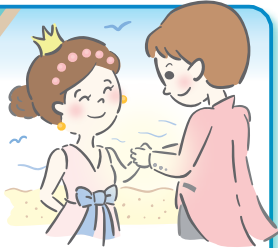
就職先は、 伝統と革新が共存する 臨海部企業



- 就職先は臨海部に最近できた最先端技術のベンチャー企業。匠の技が生きるものづくり企業をコアに、研究開発やベンチャー企業も続々進出してきて、伝統と革新が息づく、協働のものづくりの場になっています。
- 毎日のランチは公園でとるつもりです。いろいろな種類のキッチンカーが来るので楽しみです！

30代 自営業

ふる浜ハッピー ビーチウェディング



- 結婚を考えている人と一緒に区内商店街で飲食店を経営しています。週末は、臨海部の公園内にキッチンカーを出しています。
- 大森ふるさとの浜辺公園は、ふたりで早朝デートを楽しんだ思い出の場所です。そんな思い出の場所で憧れだったビーチウェディングを挙げました！

40代 ファミリー

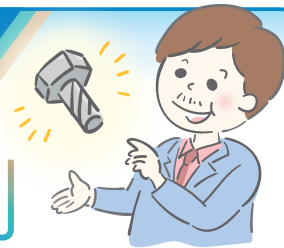
週末ナンバーワン レジャースポット 臨海部



- 週末は家族と一緒にコミュニティサイクルで臨海部へ行きます。ビーチバレーを楽しんだあとは船に乗って移動し、海が見える公園でランチ。
- 今では、ショッピングよりも臨海部の自然の中でおもいきり体を動かすコトやトキを過ごすことが何よりの楽しみです。

50代 会社経営者

お隣さんと 気軽に協業できる 環境がある



- 三代続くねじ加工会社を営んでいます。伝統的な「職人技」継承のために技術のデータ化が進んでいます。
- 島にある技術・製品開発センターで、お隣さんやベンチャー企業と協業し、製品開発を進めています。
- 技術力やネットワークを生かして、世界一のものづくり企業を目指していきます！

80代 熟練工

100年時代の 人生が輝く場所



- 定年退職を前に、ライフシフトを決意。臨海部の工場で働き始めました。
- 臨海部へは自動運転の連節バスやパーソナルモビリティで移動します。渋滞も混雑もなく、スムーズにアクセスできるので安心です。
- 週末はひ孫を連れて、大森ふるさとの浜辺公園の砂浜からバナナボートに乗って海を楽しみます！

将来像の実現に向けた基本方針

基本方針①：高度な産業の集積拠点

空港臨海部の技術者と国内外の技術者が交流し、協調・競争を通じて新たな価値を創出する高度な産業の一大集積拠点を形成します。



■ 産業

- 製造業をはじめ、特有の高い技術力を活かす企業の成長促進。最先端技術を活かし、新たな挑戦を試みる企業の誘致・育成
- 内陸部・都心や海外との連携、大手企業やベンチャー企業などとの交流・協業・挑戦を促進し、継続性の高いものづくり・研究開発の場を目指す。
- 国内外の技術者を惹きつける多様な働き方の実現

■ 土地利用

- ものづくりを主体とした土地利用の促進
- 研究開発、試作製造、実証実験などの機能を促進する土地利用誘導

基本方針②：人の活動と自然の調和

空港臨海部の希少な公園や緑地、水辺空間を活かし、働く人や訪れる人に憩いとインスピレーションをもたらす、産業・観光・レジャー・自然が調和したまちを実現します。



■ 自然環境・レクリエーション

- 都心における希少な公園・緑地・水辺、道路空間などのオープンスペースを活かし、区民・働く人には憩いの場として、訪れる人には多様なアクティビティを体験できる賑わいのある空間を創出
- 次世代エネルギーの活用やエネルギーのスマート化による脱炭素化の推進

■ 観光

- 「食」や「産業資源」などの観光コンテンツの創出・活用
- 舟運などによる新たな観光ルートの形成と羽田空港利用者の取込み

基本方針③：次世代のインフラ整備

陸・海・空における先端技術を活用した、次世代の交通・物流・通信インフラ及び交流のソフトインフラが整備されるとともに、災害時における復旧・復興の拠点を担う地域を目指します。



■ 交通

- 空港臨海部と近隣道路ネットワークの再構築・強化
- 最新技術（自動運転など）を活用した公共交通サービスレベル、配送サービスの向上

■ 防災

- 大規模災害時に備える復旧・復興拠点の形成
- エネルギー自給率の向上と大規模災害・感染症発生時のBCP強化を兼ねる柔軟性・冗長性を備えたまちの形成

■ ソフトインフラ

- 交流・協業を円滑化するビジネスコミュニティの構築
- 新技術の社会実装を加速する法整備・規制緩和

高度な産業

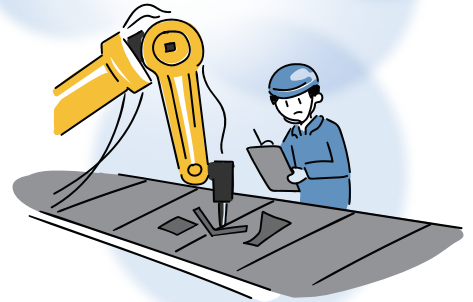
交流・協業

技術者が交流・協業し
新たなものづくりに挑戦



スマート工場

デジタル技術やロボットなどを
活用した次世代の工場



自然・環境

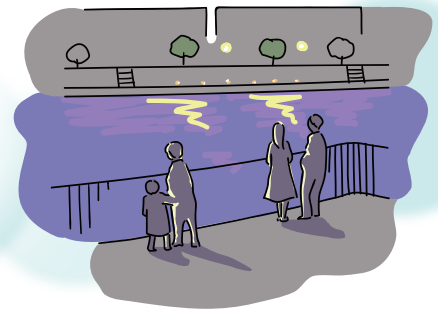
憩い・食の場

「憩い」「食」を楽しむことができる公園



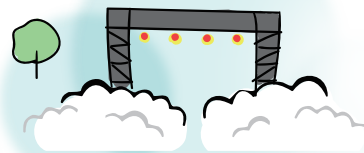
運河の夜景

水辺に映える
夜景で
にぎわう運河



屋外イベント

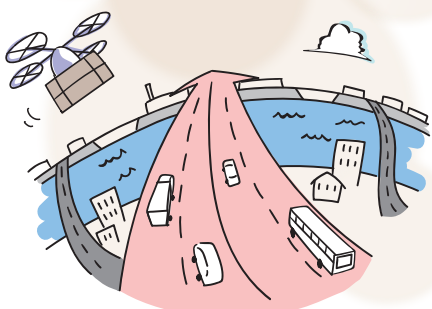
大空間を活かした
音楽フェスなどが
開催される臨海部



次世代のインフラ

新たな道路ネットワーク

新たな道路ネットワーク構築に
よる最適な人流・商流・物流



水上交通システム

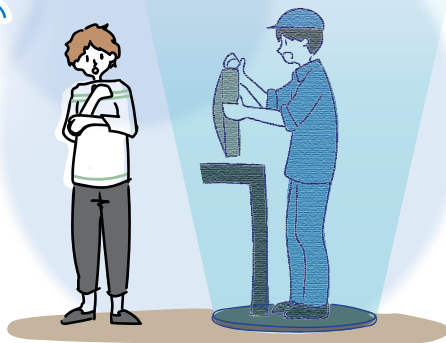
都心や空港、臨海部への
良好なアクセスを実現する舟運



海部の将来像イメージ

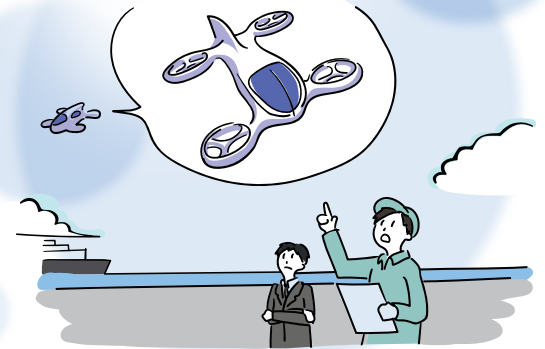
デジタル・ファブリケーション

デジタルデータや
3Dプリンターを使い
スピーディーに
試作品製作



次世代モビリティのテストフィールド

広大な土地を活用した
次世代モビリティの開発



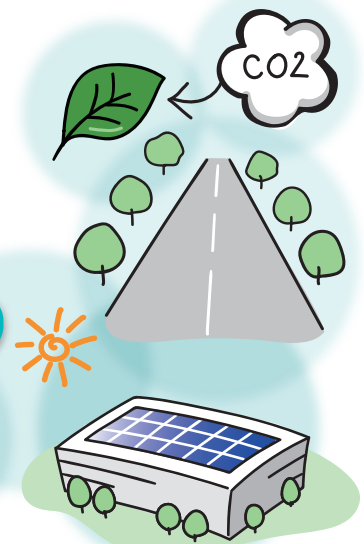
水辺のにぎわい

水上スポーツやレジャーなどで
にぎわう水辺空間



再生可能エネルギー

太陽光発電や
水素自動車などで進む
脱炭素化



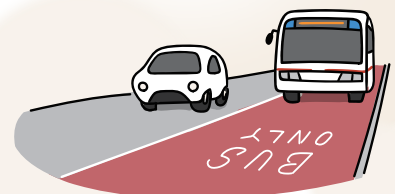
自動運転

自動運転による
安全で快適な交通環境



快適な移動

電車・バス・タクシーなど
多様な交通手段を使い
快適に移動



プロジェクト

基本方針①：高度な産業の集積拠点

ものづくり産業拠点整備	①	技術・製品開発センター機能の導入★
	②	低未利用地の産業活用
産業競争力強化	③	スマートファクトリー化（自動化・高度化）
	④	技術活用・事業承継支援
働く場の魅力化	⑤	「子育て」環境の整備
	⑥	「憩い」「食」の場づくり
	⑦	次世代の就業環境の整備
	⑧	就業者同士の交流環境の整備
港湾・先端テクノロジーの実装	⑨	次世代の港湾・物流機能の導入
	⑩	先端テクノロジーの実装★
	⑪	強靱な港の整備・憩いの空間の創出

基本方針②：人の活動と自然の調和

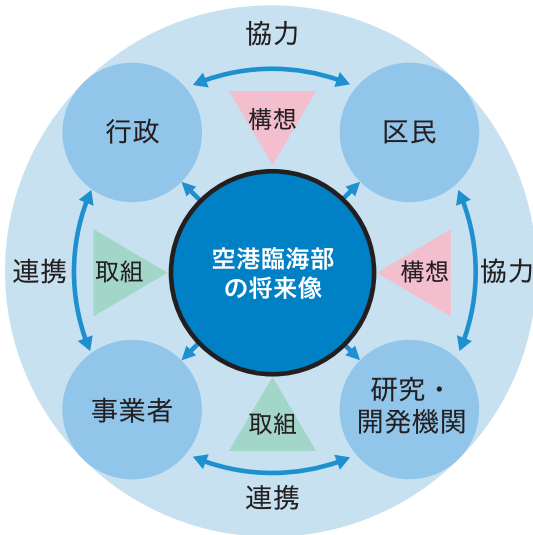
海と緑のレジャー環境整備	⑫	既存公園・緑地の魅力創出
	⑬	「賑わい」創出のための施設整備・機能強化★
	⑭	水辺と水域の賑わい創出
観光コンテンツの創出・活用	⑮	工場・倉庫等の多面的活用
	⑯	既存観光コンテンツ活用による賑わい創出
	⑰	見て・触れて楽しめる周遊ルートの整備
自然環境共生	⑱	生物多様性に関する普及啓発
	⑲	希少な自然環境の保護・再生
	⑳	水と緑のネットワークの形成★
脱炭素社会の推進	㉑	脱炭素化の推進
	㉒	次世代エネルギーインフラの整備支援
	㉓	循環型社会の実現に資する技術開発支援

基本方針③：次世代のインフラ整備

交通ネットワークの強化	㉔	「東西軸」の強化・形成★
	㉕	「周遊軸」の強化・形成
	㉖	「南北軸」の強化・形成
	㉗	羽田空港へのアクセス強化・形成
拠点機能強化	㉘	防災拠点機能の強化
	㉙	交通結節点の整備
	㉚	モノレール等の駅周辺整備
新・交通システムの実現	㉛	次世代モビリティの導入、通信インフラ等の整備★
	㉜	新・交通システムに対応する道路空間の整備
交通手段の多様化・周遊性向上	㉝	移動を快適にするソフトインフラの整備
	㉞	水上交通システムの構築

★：他をリードするプロジェクト（重点プロジェクト）

実現に向けて



【関係主体の連携イメージ】

- 区民、事業者、研究・開発機関、行政などの関係主体が連携してまちづくりに取り組むことが必要不可欠です。
- 重点プロジェクトに定めた事業については、関係主体と連携を図りつつ、重点的に取り組むことで、効果的・効率的に将来像を実現していきます。

空港臨海部100年のあゆみ

	大正～昭和初期	戦後(昭和20年以降)～昭和60年代	平成元年～	令和元年～	
内陸部	<ul style="list-style-type: none"> ・農漁村 ・耕地整理〔用水路、掘〕 	<ul style="list-style-type: none"> ●大田区誕生 (S22) ・工場街としての活気 	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区・大田区役所産業新庁舎プラザ (H10) (H8) ・大森海苔のふるさと館 (H20) 	<ul style="list-style-type: none"> ・羽田旭町産業施設 (R1) 	
埋立島部	<ul style="list-style-type: none"> ・海水浴場 ・のり養殖場 	<ul style="list-style-type: none"> ・平和島一部竣工 (S42) ・昭和島竣工 (S42) ・東海一部竣工 (S47) ・京浜島一部竣工 (S49) ・城南島一部竣工 (S53) 	<ul style="list-style-type: none"> ・工場廃業、転業、移転の拡大 ・物流等の立地 	<ul style="list-style-type: none"> ・東海に大田市場 (H元年) ・平和島にBIG FUN (H14) 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和島の誕生〔中央防波堤埋立地の一部〕 (R2年6月)
羽田空港	<ul style="list-style-type: none"> ・六郷川河口の砂浜〔三本葎飛行場〕 (S6) ・東京飛行場〔面積53ha、300m滑走路1本〕 (S6) ・日本飛行学校創立 (T6) 	<ul style="list-style-type: none"> ・接収〔ハネダエアベース〕 ・約3千人が強制退去 ・全面返還 (S33) 	<ul style="list-style-type: none"> ・3本の滑走路完成 (S39) ・成田へ国際線が移転 (S53) ・羽田空港拡張〔沖合展開〕が閣議決定 (S56) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新A滑走路完成 (S63) ・新C滑走路完成 (H9) ・新B滑走路完成 (H12) ・新D滑走路完成 (H22) 	<ul style="list-style-type: none"> ・羽田空港の国際化 (H22年10月) ・羽田インバウンティ開業 (R2年7月)



大森海岸海水浴場 (昭和初期)



東京飛行場周辺 (昭和10年頃)



昭和島・京浜島 (昭和48年)



羽田新A滑走路完成 (昭和63年)



中央防波堤埋立地 (令和2年)